

読売歌壇

小池 光選

桜田さん一家が住んでいるのかと老母に聞か
るサグラダファミリア 宮崎市 長友 聖次

【評】話がおもしろすぎるので本当かと思う
が、本当なのだろう。桜田さんの家は大きい。
高さが172センチもある。造るのに140年か
かった。まだ完全な完成に至っていない。

逆上がり突然できた日のことはおぼえているよ
七十年前 横浜市 桃井 恒和

【評】こどもの通過儀式として重要な逆上
がり。何度やってもできない。泣きたくなくて、
ふと力を抜いてやったら、できた。いかにも
それは「突然」だった。この語がよい。

朝雨に郵便受けからはみ出した朝刊濡れて捨て
られにけり 東京都 福島 隆史

【評】新聞取ってる家では誰でも覚えがある
だろう。雨の日はふくろに入って配達される
が、それでも濡れることがある。残念無念。

痛風は蟹のたたりと友の言うギックリ腰は何の
たたりや 日南市 宮田 隆雄

意気込みてリビング・キッチン掃除せしのに
肋骨二本骨折 藤枝市 北泊あけみ

人生の自慢話の一つにと、五百グラムの肉を食
べ切る 城陽市 相原 洋次

びびること何ひとつなし長嶋の空振りと思へ
ば平気 成田市 神郡 一成

駅前で我を迎える友人が飛び立つ如く両手ひろ
げる 北名古屋 月城 龍二

仕事場でちよっと笑った金曜日入社してから九
ヶ月過ぎ 鳴門市 楠井 花乃

裏畑に母と馬鈴薯掘りし日も遠き思ひ出郭公の
啼く 青森市 安田 溪子

栗木 京子選

手を叩けば真似する君は九ヶ月合わせた手から
音はまだ出ず 川越市 和田美千子

【評】手を叩くとき作者は笑顔になっている
のだろう。真似をする乳児もうれしさを感じ
取っている。まだ音が出ないところにかえっ
て純粋な心が託され、ぬくもりが伝わる。

用意せし熊よけよりも塩飴を皆求めたり夏の草
刈 いわき市 山田 吉胤

【評】町内会の草刈の作業だろうか。熊の襲
来は怖い、熱中症で倒れる危険にも留意せ
ねばならない。夏の戸外での活動は命がけな
のだ。あらためてそう気付かされる。

サッカーのルールを定かに知らねどもゴールは
解る飛びはね拍手 あきる野市 大西 国子

【評】サッカーワールドカップは見応えがあ
った。オフサイドなどのルールは難しいが、
ゴールは良く解る。下句に共感を覚えた。

血の色は見せることなく白き皿に黄金色のアジ
フライ置く 松江市 犬山 純子

冷凍のエビグラタンにはしゃぐ子が雨の夕餉の
光源となる 春日井市 月夜の雨

浜茄子咲く津波禍の海は平なり津波でんでんこ
薄れゆきつつ 福島市 錦戸 春憲

咲き終わる見向きもされないハナズオウ葉裏に
紅のタネさや下がる 仙台市 平野 洋子

夕立ちに金魚田あふれ千匹の出目金はじめて流
れに泳ぐ 大和郡山市 四方 護

片恋の終止符として吹いてゐる百十四のシャボ
ン玉液 徳島市 松尾 初夏

沐浴する赤子のように梅の実の肌を愛しくガ
ゼで撫でる 所沢市 青木 照子